遠隔コントローラ　取扱説明書

●熱風発生機本体と離れた場所に設置した遠隔コントローラと同時操作ができます。

型式	RCS－10MC	適合機種	TSK-18～56、TSK-22H4・32H5

型式	RCT－10MC	適合機種	TSK-62～121、HJ-1.5、TSK-52H6～82H10

①据え付け方法

遠隔コントローラは下記の方法にて据え付け、しっかりと固定してください。

・操作盤への埋め込み取り付け（付属のビスをご利用ください）。

・固定金具を利用した据え置き、または吊り下げ

・固定金具を利用した壁掛け取り付け

※遠隔ケーブルは遠隔コントローラの上下左右のすべてに取り付け可能です（出荷時は下部取り付け）。各面の入線穴（ノックアウト）を利用し、任意の位置へ取り付けてください。また、取り付け位置を変更した場合は下部の入線穴に付属のゴムブッシングを取り付けて保護してください。

②配線接続方法

遠隔ケーブルを熱風発生機のサービス端子へ接続してください。

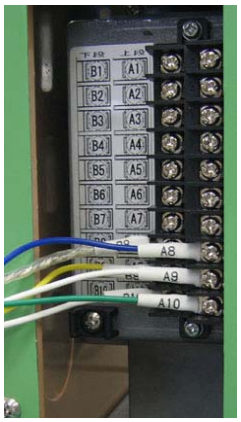
〈RCS－10MC〉

遠隔ケーブルをサービス端子カバーの入線穴（ゴムブッシングに通してから、遠隔ケーブルのコネクタを熱風発生機のサービス端子のRCコネクタ部へカチッと音が鳴るまで差し込んでください。

〈RCT－10MC〉

遠隔ケーブルをサービス端子カバーの入線穴（ゴムブッシングに通してから、遠隔ケーブルのY端子を熱風発生機サービス端子のA8・A9・A10、及びB8・B9・B10へ接続してください。

※遠隔ケーブルのマークチューブとサービス端子の端子番号を間違わないように接続してください。
接続を間違うと故障します。



※接続後は、必ずサービス端子カバーを再度取り付け、端子部に引っ張りがかからないように、遠隔ケーブルを固定してご使用ください。

③取扱説明書（基本操作編）に従って運転を開始してください。

熱風発生機本体の操作パネルと遠隔コントローラは連動します（どちらでも運転できます）。

注意　：　遠隔ケーブルはAC電源線、電力線、高調波線と隣接配線や結束をしないでください。
ノイズにより内部電子機器が破損します。

注意　：　遠隔コントローラの接続は必ず元電源（工場電源）を遮断して実施してください。

株式会社　竹綱製作所

2009年11月 第1版